

**UR都市機構は美波町（徳島県）にサテライトオフィス
「うみがめラボ」を開設します**
～高台整備の技術支援の拠点・地方都市再生に係る取り組みの場として～

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、美波町（徳島県）に古民家をリノベーションしたサテライトオフィス「うみがめラボ」を開設いたします。

UR都市機構は、美波町と令和3年4月に「美波町における津波防災まちづくり・地方都市再生の推進に向けた協定書」を締結しており、美波町における津波防災まちづくりの推進に資する支援や地方都市再生の取り組みを行っております。うみがめラボは、高台整備の技術支援の拠点とするだけでなく、美波町や地元の方々と連携し、地域経済活性化を目指した取り組みの試行を実施するなど、地方都市再生に係る取り組みの場として活用する予定です（詳細は別紙参照）。

については、下記のとおりオープニングセレモニーを開催しますので、お知らせいたします。

記

- 1 日 時 令和3年11月15日（月）午前10時から11時
- 2 出席者 美波町長、UR都市機構理事・西日本支社長ほか
- 3 次 第 UR都市機構理事・西日本支社長挨拶
美波町長挨拶
来賓紹介
看板除幕式
内覧会
- 4 場 所 サテライトオフィス「うみがめラボ」
（徳島県海部郡美波町奥河内字本村169番地2）
- 5 その他 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、執り行います。

（お問合せ先）

UR都市機構 西日本支社

都市再生業務部 まちづくり支援室

TEL 06-6969-9901

総務部 総務課（広報担当）

TEL 06-6969-9008

美波町役場 政策推進課

TEL 0884-77-3616

■背景と目的

美波町とUR都市機構は、平成30年3月、「美波町における津波防災まちづくりの推進に向けた協定書」を締結し、今後発生する可能性のある南海トラフ巨大地震等への備えとして、津波防災まちづくりを推進するため、相互に緊密に連携して参りました。

美波町は、こども園の高台移転や大規模災害時に必要となる、避難場所、防災拠点、応急仮設住宅利用等を想定した防災公園の整備を推進しており、UR都市機構は、高台整備への技術的支援を行って参りました。

また美波町は、人口約6,300人の町ですが、活気あふれるにぎやかなまちであり続けることを目指して「にぎやかそ（にぎやかな過疎の町）」のキャッチフレーズを掲げ、企業のサテライトオフィス誘致に積極的に取り組んでいます。

美波町とUR都市機構は、より一層の連携を図るため、「美波町における津波防災まちづくりの推進に向けた協定書」の内容に、美波町が実施する地方都市再生の推進についてUR都市機構が支援を行う旨を加え、令和3年4月に、「美波町における津波防災まちづくり・地方都市再生の推進に向けた協定書」として改めて協定を締結いたしました。

UR都市機構は、これらの取り組みを行うことを目的として、美波町日和佐地区の古民家をリノベーションし、サテライトオフィス（通称「うみがめラボ」）を開設することとしました。うみがめラボは、グループ会社である株式会社URリンケージと共同使用し、高台整備の技術支援の拠点とするだけでなく、美波町や地元の方々と連携し、地域経済活性化を目指した取り組みを試行実施するなど、地方都市再生に係る取り組みの場として活用する予定です。

■サテライトオフィスの概要



築約100年の古民家をリノベーションして循環型サテライトオフィスになります。

■オープニングセレモニー会場案内図



※駐車場をご利用の場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

■アクセス

- ・車でお越しの方
徳島市中心部から国道55号線で約1時間10分
- ・電車でお越しの方
徳島駅からJR牟岐線 特急で約60分
- ・高速バスでお越しの方
大阪駅前から約3時間30分
南海なんばから約4時間
※JR牟岐線日和佐駅（道の駅日和佐）より徒歩10分